



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6927 URL <http://www.heliostec-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斉藤 定一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括管理部長 (氏名) 川坂 陽一 (TEL) 079-263-9500
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,272	28.8	176	—	209	—	358	—
25年3月期第2四半期	4,094	△17.9	△121	—	△129	—	△76	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 362百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △73百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第2四半期	21.53		21.13	
25年3月期第2四半期	△4.61		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,808		6,656		67.5	
25年3月期	9,131		6,340		69.2	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 6,618百万円 25年3月期 6,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00	
26年3月期	—	0.00				
26年3月期(予想)			—	10.00	10.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	12,900	15.8	630	79.5	650	50.5	820	84.8	49.24	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期2Q	22,806,900株	25年3月期	22,806,900株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	5,943,710株	25年3月期	6,259,410株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	16,652,723株	25年3月期2Q	16,547,490株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権による経済対策、金融政策等により円安、株価上昇が進み、日本の経済も回復基調に推移しました。このような経済環境の中、当社グループにおいては、LEDランプの品揃え・拡販、タッチパネル製造装置の開発・販売、更には技術者派遣分野では、積極的M&Aによる事業拡大に尽力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期と比べ11億78百万円(28.8%)増収の52億72百万円となり、営業利益は2億98百万円増の1億76百万円、経常利益は3億39百万円増の2億9百万円、四半期純利益は4億34百万円増の3億58百万円となり、当期末の配当を1株当たり2円増配の10円の予想とさせていただきます。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。なお、各金額についてはセグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

①ランプ事業

ランプ事業につきましては、プロジェクター市場において、業務用・学校教育用プロジェクター等の需要が堅調に推移し、年初からの円安により利益率は改善しましたが、円安による販売の増加にはプロジェクターの開発時期との兼ね合いで一年程度かかる見通しであり、プロジェクター用ランプの売上高は、前年同期比6.9%減の6億87百万円となりました。一般照明ランプについては、節電意識が根付くとともに、LEDランプの販売も順調に伸びてきており、またハロゲンランプ等従来ランプについても堅調な推移をみせ、前年同期とほぼ同額の8億17百万円となりました。一方、露光装置ユニットにおいては、前年同期比364.7%増の6億45百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比26.2%増の25億2百万円となりました。

②製造装置事業

製造装置事業につきましては、スマートフォン、タブレット端末用のタッチパネル製造装置への投資等、意欲的な投資環境に対応するため、積極的に新装置の開発を行った結果、量産機による受注を順次獲得しております。

なお、4月に開催された「ファインテックジャパン」に精密印刷機を出展し、更には8月に台湾で開催された「TOUCH台湾2013」では精密グラビアオフセット印刷機を用いたタッチパネル製造における周辺配線の印刷に関して、招待講演を行い、プリンタブル・エレクトロニクス分野への実用性をアピールしました。

当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比96.9%増の18億76百万円となりました。

③検査装置事業

検査装置事業につきましては、S-L i g h t (検査装置用光源装置)の販売を積極的に展開、UV露光装置の受注をしております。またスマートフォン、タブレット端末液晶及びタッチパネル製造用の外観検査装置(探傷検査装置)の技術開発に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比95.4%増の6億1百万円となりました。

④人材派遣事業

人材派遣事業につきましては、技術者派遣を中心としているため、安定しております。地域密着型の事業の為、スタッフの質的向上、顧客ニーズに合った対応を行い、営業強化を図っておりますが、その地域の業況に左右されることも鑑み、更なる業容拡大を狙い積極的にM&Aを実施、5月に株式会社関西技研を、10月に株式会社テクノ・プロバイダーを当社グループに統合いたしました。しかしながら、当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比8.2%減の8億44百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9億77百万円増加し、70億58百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が6億44百万円減少した一方、現金及び預金が9億10百万円、前渡金等を含むその他が6億49百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3億円減少し、27億49百万円となりました。その主な要因は、関係会社株式の取得等により、投資その他の資産のその他が1億97百万円増加した一方、遊休資産となっていた不動産の売却により、有形固定資産の土地が3億71百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ6億77百万円増加（7.4%増）し、98億8百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ4億21百万円増加し、25億62百万円となりました。その主な要因は、前受金等を含むその他が4億66百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ60百万円減少し、5億89百万円となりました。その主な要因は、繰延税金負債が56百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億61百万円増加（13.0%増）し、31億51百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億15百万円増加（5.0%増）し、66億56百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当を1億32百万円行った一方、四半期純利益が3億58百万円あったことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、主に上述の負債の増加を受け、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント低下し、67.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、6億96百万円の収入（前年同四半期は9億65百万円の収入）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益3億38百万円、売上債権の減少額（資金の増加）6億44百万円及び法人税等の支払額1億19百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億22百万円の収入（前年同四半期は31百万円の支出）となりました。主な内訳は、遊休不動産等の有形固定資産の売却による収入5億円及び関係会社株式の取得による支出1億3百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億26百万円の支出（前年同四半期は4億71百万円の支出）となりました。主な内訳は、配当金の支払額1億32百万円であります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ8億91百万円増加し、24億77百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成25年5月10日に公表いたしました平成26年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成25年11月8日）公表の「平成26年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異、通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,632,778	2,543,686
受取手形及び売掛金	2,794,709	2,150,184
商品及び製品	217,280	294,347
仕掛品	876,968	901,846
原材料及び貯蔵品	454,398	412,093
その他	114,750	764,532
貸倒引当金	△9,309	△7,751
流動資産合計	6,081,576	7,058,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	880,273	851,236
土地	1,260,686	888,917
その他(純額)	461,590	408,579
有形固定資産合計	2,602,550	2,148,733
無形固定資産		
のれん	60,205	30,102
その他	90,547	76,053
無形固定資産合計	150,753	106,156
投資その他の資産		
その他	345,324	543,137
貸倒引当金	△49,107	△48,867
投資その他の資産合計	296,216	494,270
固定資産合計	3,049,520	2,749,160
資産合計	9,131,096	9,808,100

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	910,521	941,730
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	239,400	231,200
未払法人税等	88,737	42,497
賞与引当金	195,131	166,470
製品保証引当金	16,582	16,652
工事損失引当金	35	7,172
その他	490,631	956,799
流動負債合計	2,141,038	2,562,523
固定負債		
長期借入金	268,400	292,500
繰延税金負債	193,772	137,690
その他	187,125	159,042
固定負債合計	649,297	589,233
負債合計	2,790,336	3,151,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,563,867	2,563,867
利益剰余金	3,161,830	3,379,275
自己株式	△1,567,420	△1,488,365
株主資本合計	6,291,455	6,587,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,480	30,938
その他の包括利益累計額合計	26,480	30,938
新株予約権	22,825	37,452
純資産合計	6,340,760	6,656,344
負債純資産合計	9,131,096	9,808,100

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,094,562	5,272,564
売上原価	3,055,203	3,733,401
売上総利益	1,039,359	1,539,162
販売費及び一般管理費	1,161,201	1,362,442
営業利益又は営業損失(△)	△121,842	176,719
営業外収益		
受取利息	60	42
受取配当金	3,639	3,688
負ののれん償却額	20,076	20,076
貸倒引当金戻入額	17,695	1,765
投資有価証券評価損戻入益	—	12,375
雑収入	9,867	20,574
営業外収益合計	51,338	58,522
営業外費用		
支払利息	8,571	4,001
為替差損	12,118	2,477
投資有価証券評価損	23,298	—
シンジケートローン手数料	13,000	13,934
雑損失	1,987	4,898
営業外費用合計	58,975	25,310
経常利益又は経常損失(△)	△129,478	209,931
特別利益		
固定資産売却益	—	128,864
特別利益合計	—	128,864
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△129,478	338,795
法人税、住民税及び事業税	5,187	39,000
法人税等調整額	△58,315	△58,681
法人税等合計	△53,128	△19,681
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△76,350	358,477
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△76,350	358,477

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△76,350	358,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,284	4,457
その他の包括利益合計	3,284	4,457
四半期包括利益	△73,065	362,935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73,065	362,935
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△129,478	338,795
減価償却費	156,572	147,684
のれん償却額	10,026	10,026
賞与引当金の増減額(△は減少)	△640	△28,661
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17,167	△1,797
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△33,721	7,136
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△70	70
受取利息及び受取配当金	△3,699	△3,730
支払利息	8,571	4,001
投資有価証券評価損益(△は益)	23,298	△12,375
固定資産売却損益(△は益)	—	△128,864
売上債権の増減額(△は増加)	839,983	644,764
たな卸資産の増減額(△は増加)	△179,685	△61,255
未収入金の増減額(△は増加)	4,303	△1,896
前渡金の増減額(△は増加)	△91,289	△601,956
仕入債務の増減額(△は減少)	△102,780	31,209
未払消費税等の増減額(△は減少)	49,651	△4,793
未払金の増減額(△は減少)	△84,351	△57,350
前受金の増減額(△は減少)	487,441	561,957
その他	△10,751	△27,933
小計	926,211	815,031
利息及び配当金の受取額	3,727	3,728
利息の支払額	△5,857	△2,867
法人税等の還付額	58,388	—
法人税等の支払額	△17,196	△119,779
営業活動によるキャッシュ・フロー	965,273	696,112
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△36,000
定期預金の払戻による収入	—	17,000
有形固定資産の取得による支出	△30,062	△49,943
有形固定資産の売却による収入	73	500,657
無形固定資産の取得による支出	△1,604	△993
投資有価証券の取得による支出	△65	△67
関係会社株式の取得による支出	—	△103,679
その他	—	△4,311
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,659	322,662

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	—
長期借入れによる収入	—	150,000
長期借入金の返済による支出	△155,010	△134,100
設備支払手形の増減 (△は減少)	△746	—
設備未払金の増減 (△は減少)	△4,011	—
リース債務の返済による支出	△11,283	△10,389
配当金の支払額	—	△132,379
財務活動によるキャッシュ・フロー	△471,050	△126,869
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	462,563	891,905
現金及び現金同等物の期首残高	1,608,869	1,585,715
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,071,433	2,477,621

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	検査装置 事業	人材派遣 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	1,965,279	952,925	296,020	880,337	4,094,562	—	4,094,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,991	150	11,961	40,221	70,324	△70,324	—
計	1,983,271	953,075	307,981	920,559	4,164,887	△70,324	4,094,562
セグメント利益又は損失(△)	118,158	△95,852	17,833	10,245	50,384	△172,227	△121,842

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△172,227千円には、セグメント間取引消去△40千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△172,186千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	検査装置 事業	人材派遣 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	2,461,508	1,876,422	114,799	819,834	5,272,564	—	5,272,564
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,373	—	486,956	25,032	553,361	△553,361	—
計	2,502,882	1,876,422	601,755	844,866	5,825,925	△553,361	5,272,564
セグメント利益	114,380	157,169	76,333	20,765	368,649	△191,929	176,719

(注) 1 セグメント利益の調整額△191,929千円には、セグメント間取引消去1,255千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△193,185千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。